

◇令和4年度 さいたま市立仲町小学校経営方針◇

仲町小学校長 河野 秀樹

令和4年4月

1 学校教育目標等

○学校の教育目標

明るく 正しく たくましく（校訓）

「自ら学び、共に生きる子どもの育成」

○めざす学校像

「子どもたちの自信をはぐくみ、保護者・地域の信頼に応える学校

～笑顔が輝き、あいさつが響き合う仲町小～」

- ・ 安心、安全で美しい学校（安全確保と教育環境の充実）※Grit、Growth、Global
- ・ 子ども、家庭、地域と心の通い合う学校（相互理解と信頼）※Growth、Global
- ・ 笑顔が輝き、あいさつが響き合う学校

（学習指導、生徒指導、心の教育の充実）※Grit

※【さいたま市教育委員会 子どもたちの未来のための PLAN THE NEXT 3つのG】

Grit 「やり抜く力」で真の学力を育成する

Growth 一人一人の成長を支え、生涯学び続ける力を育成する

Global 国際社会で活躍できる人材を育成する

○めざす児童像

「自ら学び、共に生きる子ども」

- ・ 知 「進んで学ぶ子」
- ・ 徳 「仲よく、思いやりのある子」
- ・ 体 「心も体もたくましい子」
- ・ コミュニケーション 「認め合い高め合う集団」

○めざす教師像

- 「豊かな人間性と社会性を備え、学び続ける教師」
- ・笑顔が輝き、子どもの心に寄り添う教師
 - ・充実した研修と確かな実践

2 学校経営の重点

- 1 授業で身に付けた力を生かし、たくましく生きるため、自分の考えをもち共に学び合う教育活動を行う。
- 2 ルールやマニュアル等に則して、安全管理と安全指導を行う。
- 3 学校、家庭、地域が相互に理解し信頼できるよう、組織を活用する。
- 4 子どもの心に寄り添い、学び続ける教師・教師集団を構成する。

3 具体的方策

○指導の一層の充実

- ・各教科等での「主体的、対話的で深い学び」の定着に向けた研修の充実（国語科での成果の体育科、特別活動を始めとする他教科等での活用）
- ・個別最適な学びを支える一人一台端末の活用と、協働的な学びを支える特別活動を軸とした話し合い活動の実践研究の充実
- ・地域人材の積極的な活用、新たな地域教材の開発と活用
- ・体力向上（投力、握力、運動量）
- ・組織的な対応によるいじめ撲滅（早期発見、情報共有、組織対応）
- ・心の教育、道徳教育、個に応じた指導の一層の充実

○安全管理、安全指導の徹底

- ・食物アレルギー事故〇に向けた確実で組織的な取組（除去食、代替食提供開始に伴うマニュアルの共通理解と共有）
- ・学校運営協議会、SSN等の関係者と連携した登下校の安全確保と、マナー向上に向けた取組
- ・関係部署と連携した校舎増築工事の安全な実施

○教育環境の整備

- ・学校運営協議会を核とした開かれた学校としての実践の推進（コミュニティスクールとしての実践の推進）
- ・保・幼・小・中一貫・連携教育の継続、深化
- ・高学年教科担任制の実施に向けた実践研究の継続（専門性を生かした指導内容の一層の充実、相談窓口の増、働き方改革の推進）
- ・児童の学びの充実につながる施設活用、教育課程実施の工夫（校舎増築工事に関わり、使用できる校庭が制限される中での教育活動の充実）

令和4年度さいたま市立仲町小学校グランドデザイン

